

## 動物の診察室から

から

○ 39 ○

もも太君は、11年前に高校生と中学生の兄弟が、コンビ二の前にうずくまっている子猫を保護して、病院へ連れてきた猫です。

生後3カ月ほどで、交通事故にあったと思われる左の後ろ足をつくことができませんでした。手術で骨折と脱臼は整復しましたが、事故にあったから時間の経過があったために、膝の関節が伸びたまま曲げることができな

生まれなかったそうです。そんな時に家では、お母さんがもも太君の具合の悪いことに気がつき、病院へ連れてこられました。もも太君は胸に膿がたまる病氣(膿胸)で、病院へ入院させたあと帰ってみると、とても難産だった子の体位が変わり、すーと無事出産し



手術の後、毛も生えてきたもも太君

## 人との間に何かがある

## 不思議な出来事

くなってしまうました。でも、外に出掛けることもでき、元気に暮らしていました。

そして月日が過ぎ、もも太君を保護したお兄さんは結婚をし、赤ちゃんを授かるのですが、奥さまの初めての出産は逆子のため、難産でなかなか

たそうです。ご家族は、もも太君が、悪いところを代わってくれたのかねと話していたそうです。

今度ももも太君を保護した弟さんの赤ちゃんの出産日で、そしてその日に、もも太君は交通事故にあい、骨盤を数カ所骨折し

てしまいました。もも太君は手術で骨盤を整復して、弟さんの赤ちゃんは無事に生まれました。

もも太君は自分を助けてくれたお兄さんたちに恩返しをしたのでしょうか、偶然かもしれませんが、不思議ですね。今年の6月、急な不幸

実は2日前にご主人さまが急に亡くなられたそうでした。

ました。

しかし、その夜ますます状態が悪くなつていき、生きる気力がなくなつていきました。そしてご家族をお呼びすると、

があつたとのことで、11歳のゴールデンレトリバーのジャッキー君をお預かりしました。ジャッキー君は神経症状を起こしたこともありましたが、普通の生活を送っていました。何回かお預かりしましたが、今回は何か元気がありません。翌日お兄さんが迎えに来た時は、ジャッキー君の状態が悪いために、そのまま入院治療することになり

人とお動物との間には、説明のできない何かがあるのですね。